

「企画部」年間活動報告

都市教養学部人文・社会系・准教授 山田 昌久
システムデザイン学部情報通信システム工学コース・准教授 西川 清史

本年度の企画部は、学生参加によるFD活動の立ち上げを目的として活動を行った。本年度の活動報告を以下に示す。

シンポジウムへの参加

- ・平成18年9月9日に岡山大学で開催された「第3回教育改善学生交流シンポジウム・ワークショップ i*See2006」に参加した。学生代表2名および企画部教員2名が参加し、他大学における学生参加型のFD活動に関する調査を実施した。
- ・シンポジウム報告はFDレポート3号に掲載されているので、参照されたい。
- ・他大学の動向を知る上で、次年度以降も継続的にシンポジウムに参加することが望ましいと思われる。

今年度の検討項目

- 来年度以降の学生参加型FD活動に関して、シンポジウムに参加した学生を交えて検討を行った。
- ・シンポジウムに参加した学生を中心としてFD活動に興味を持つ学生を集めてもらい、当面の間、試行として活動を行う。
 - ・自治会などの学内の多組織により行われている活動との重なりなどを考慮し、活動内容の整理が必要である。
 - ・継続して活動を行っていくための、人選方法などを検討する必要がある。

・また、学生側からは以下の意見が出された

- FD活動に関する情報が学生に十分に伝わっていないのではないか。
- 学生が授業内容や教科書などを決定するプロセスに関与できる仕組みを用意してほしい。
- 継続的に、学生がFD活動へ主体的な関与ができる体制を作ってほしい。
- 学生からの意見に対するフィードバックを明確にしてほしい。

今後の活動について

来年度以降、学生によるFD活動を推進するために必要であると思われる取り組みを以下に示す。

- ・FD活動を行うための学生主体の委員会組織を立ち上げる。
- ・学生への窓口となる教職員組織を決定し、学生と連絡を取り、学内の適切な委員会へ要望を提出する仕組みを用意する。
- ・FD委員会により行われている、FD活動の学生への十分な広報を行い、学生が主体的に参加できるようにする。

以上